

財団だより

<第 72号>

一般財団法人 全国強制抑留者協会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-2
九段第二勸業ビル2階
TEL 03-3261-6565 FAX 03-3261-6548



令和三年の新春を迎え

ますますのご健勝とご繁栄を

心より祈念申し上げます



皆様にはご健勝に新しい年をお迎えのことと存じお慶び申し上げます。

昨年は年初よりコロナウイルス感染症が猛威を振るい全世界に広がりを見せ多くの方が災いを受けられました。今年も収束へ向かい万事が是非好転する年になつてもらいたいと祈念いたします。

昨年開催致しました「シベリア抑留関係者中央慰霊祭」にても申し上げます

一般財団法人 全国強制抑留者協会
会長 山田 秀三



が、ソ連は日ソ中立条約を一方的に破棄し、満州・北朝鮮・樺太・千島に領土拡大の為の侵略を行い、不法にも軍人に加え軍属や一部民間人までも拉致し、旧ソ連領内各地シベリア、アルタイ、中央アジア、ウクライナやモンゴルなどに、長期にわたる強制抑留し、

飢餓、極寒の中、過酷な強制労働に従事させ更には思想教育を行ったのであります。

このような中六十万人を超える日本人抑留者が栄養失調、伝染病、極寒等極めて劣悪な環境下での収容所生活を強いられ、そのうち判明しているだけでも六万人余の同胞が不帰の人となりました。この方々を忍ぶとき、また死没された皆様

を故郷日本へお連れすることが出来ない現況を思うとまさに断腸の思いです。戦後七十五年を迎えた昨年はコロナ禍で一部事業が開催延期や中止となりました。

多くの支部では厳しい開催条件の中、この戦後に起こったシベリア抑留者の悲劇を、二度と再び起こさないために「慰霊祭」、「シベリア抑留関係展示会」並びに「抑留体験の労苦を語り継ぐ集い」を開催致しました。

末筆となりましたが、皆様並びにご家族のご多幸、ご平安を心より祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

新しい年(令和三年丑年)が

より佳き一年でありますよう

皆様のご健康とご多幸を

お祈り申し上げます



一般財団法人 全国強制抑留者協会

理事長 林 英夫
理事 一 同
監事 一 同
評議員 一 同

令和2年度 実施事業 (4月~11月) — ①

慰 霊 祭

中央慰霊祭 — 東京 都市センターホテル —

実施日/令和2年10月16日 参加者/112名



地方慰霊祭

開催県数/13県 開催日/令和2年4月~11月 参列者/合計152名



令和2年度 実施事業 (4月～11月) — ②

慰霊訪問(墓参)

全コース中止

展示会

開催県数/2県 開催期間/令和2年4月～11月 入場者数/450名



語り継ぐ集い

開催県数/2県 開催日/令和2年4月～11月 参加者/126名



相談・調査

- ① 対応件数/約286件 (手紙・電話・ホームページ上での問い合わせ)
- ② 厚生労働省実施の旧ソ連領 遺骨収集 (中止)
- ③ 資料翻訳 (日本語 ⇄ ロシア語) ④ 資料のデータ化
- ⑤ ロシア国立軍事古文書館公式サイト 翻訳

寄付金募集に关しましてご報告

日頃は（一財）全国強制抑留者協会の活動に対して多大なご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私ども、財団は戦後シベリアを中心とする旧ソ連各地に抑留された方々の処遇改善を図り、戦後強制抑留問題を風化させることなく、その体験を将来への教訓として継承し我が国の永遠の平和と繁栄を期することを目的として活動して参りました。

当財団は昨年度同様に今年度も「慰藉事業を全国規模で実施することができる法人に対し、当該慰藉事業に要する経費の一部又は全部を補助することにより戦後強制抑留者に対する慰藉の念を示す事業の円滑な推進をはかる事を目的とする」事由で、国から補助を受けることができました。

おかげさまで、コロナ禍ではありましたが、今年度予定されておりました事業は国からの補助と皆様からのご支援によって概ね終了できましたことをご報告申し上げます。

戦後におきた非人道的な強制抑留問題を語り伝え、またその体験を将来への教訓として継承できるように活動して参る所存です。

引き続きのお願いで恐れ入りますが、皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

一般財団法人 全国強制抑留者協会
会長 山田 秀三

寄付の方法

● 銀行振込でのご送金

三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店
普通預金口座 0730329

● 現金でのご送金

〒102-0073
東京都千代田区九段北1-8-2
九段第二勸業ビル2階
一般財団法人 全国強制抑留者協会

寄付金募集に关してのお礼とご報告 … 令和2年11月30日

日頃は一般財団法人全国強制抑留者協会の活動に対して多大なご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の寄付金につきましては本協会の貴重な財源として慰藉事業ならびに慰霊事業に役立たせていただきます。

引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

合計件数…19件（現金…4件 現金書留…5件 振込…10件）
合計金額…517,000円